

## 論文審査の結果の要旨及び担当者

報告番号	博（医）乙1,747号	氏名	岡崎光男
論文審査担当者		主査教授	下川 功
		副査教授	由井 克之
		副査教授	近藤 宇史
論文審査の結果の要旨			
<p>1 研究目的の評価</p> <p>本研究は、月経および月経困難症の発症機構を明らかにする目的で、虚血再灌流による子宮内膜細胞のアポトーシス誘導と TNF-<math>\alpha</math> シグナルの役割を検討した。その目的は十分に妥当である。</p>			
<p>2 研究手法に関する評価</p> <p>マウスを用いた子宮動脈虚血再灌流モデルの作成、TUNEL 法、透過電顕によるアポトーシスの組織学的評価、Real-time RTPCR 法による TNF-<math>\alpha</math> mRNA の定量、TNF-Rp55 ノックアウトマウスの利用など、研究手法も妥当である。</p>			
<p>3 解析・考察の評価</p> <p>上記手法で解析した結果、虚血再灌流による子宮内膜細胞のアポトーシス誘導と TNF-<math>\alpha</math> シグナルの関与を明らかにした。ヒトの月経困難症との関連性を示唆した点を含め、解析、考察とも妥当である。</p>			
<p>以上のように本論文は月経および月経困難症の分子基盤の解明に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士（医学）の学位に値するものと判断した。</p>			